

玉置山権現縁起

本文中に「観應元年九月八日依^二旧本^一書寫畢、」とある。観應は北朝の年号で、元年は1350年。

『神道大系 神社編五 大和国』に収められた「玉置山権現縁起」に、「日本國在^二十柱王子^一」として戸隠山があげられているが、当時そのように見なされていたというよりも、全国の十の靈山に「玉置山権現縁起」の関係者がそれぞれの天狐を適宜割り振ったと考えるべきであろうか。

日本國在^二十柱王子^一、

第一榮御神通天狐 阿多古山

第二榮轉意神通天狐 比良山

第三智羅神通天狐 戸隠山

第四足尊神通天狐 富士山

第五通達神通天狐 白山

第六智吉神通天狐

大嶺

第七愛智命師神通天狐

羽黒山

第八仁命神通天狐

大山

第九飛須神通天狐

日光山

第十道俗神通天狐

箱根山